

## 2 県立病院事業概況

平成 21 年度の事業の概要は次のとおりである。

### (1) 診療状況

平成 21 年度に県立病院で診療を行った患者数は、入院が延べ 156,671 人で前年度と比較して 30,341 人(16.2%)減少し、外来は延べ 270,507 人で前年度と比較して 33,681 人(11.1%)減少している。

病院別に見ると、入院では喜多方病院を除く 5 病院で減少している。また、外来では宮下病院を除く 5 病院で減少している。

次に、診療科別に見ると、入院では耳鼻咽喉科で増加し、内科外 6 診療科で減少している。また、外来では産婦人科（産は休診）が増加し、内科外 9 診療科で減少している。

### (2) 施設設備の整備

ア 病棟改修工事（矢吹病院）、中央監視装置改修工事（南会津病院）外 3 病院の庁舎等改修工事を行った。

イ 会津医療センター(仮称)整備（右折レーン）工事の発注を行った。

ウ デジタル脳波計（矢吹病院）、超音波診断装置（喜多方病院）、外科用イメージ（会津総合病院）、全身麻酔機（南会津病院）等の医療機器の購入整備を行った。

### (3) 収支状況

平成 21 年度における総収益は 11,734,355 千円で、前年度と比較して 66,447 千円（0.6%）の増加となっている。一方、総費用は 13,468,138 千円で、前年度と比較して 461,660 千円（3.3%）減少している。これは、常勤医師の退職、医師の交代など診療体制の変更等で医業収益は減少しているが、総収益は国の臨時交付金の活用による一般会計繰入金の増加により増加しており、この結果、差引純損失は 1,733,783 千円となり、前年度と比較して 528,107 千円（23.3%）損失減少している。

また、医業収益から医業費用を差し引いた医業損益は 5,378,155 千円となり、損失額は前年度と比較して 359,754 千円（7.2%）増加している。この結果、総収益対総費用比率は 87.1%、医業収益対医業費用比率は 58.5%となっている。

主な費用について見ると、給与費は 8,344,629 千円で前年度と比較して 34,371 千円（0.4%）増加したが、退職手当の増加などによるもので、医業収益に対する割合では 110.1%となり、前年度より 11.3 ポイント増加している。また、薬品費等の医療材料費については 1,498,914 千円で、患者の減少により、前年度と比較して 358,367 千円（19.3%）減少し、医業収益に対する割合も 18.4%と前年度より 2.2 ポイント減少している。

累積欠損金は、前年度より 1,733,783 千円増加して 24,176,369 千円となり、医業収益に対する累積欠損金比率は 319.0%と前年度に比較して 52.3 ポイント増加している。

なお、一般会計から負担金・補助金として繰り入れた額は、収益的収入 5,385,160 千円、資本的収入 1,206,468 千円で合計 6,591,628 千円となっており、前年度と比較して 1,745,419 千円（36.0%）増加している。